

# “超蓄光”塗料 ANSR-20 仕様書

- 1、品名： “超蓄光”塗料 ANSR-20G(緑)、B(青) (蓄光塗料)
- 2、タイプ： アクリルラッカー樹脂系塗料 一液常乾タイプ (溶剤型、強溶剤タイプ)
- 3、機能： 太陽光や蛍光灯の光エネルギーを蓄積し、暗闇の中で数分間～数時間発光します。  
発光時間は、3～6時間持続します。(塗膜厚、下地色及び光の照射時間などにより異なります。)
- 4、用途： 金属、木材、コンクリート、プラスチック(アクリル、ABS、硬質塩ビ など)、紙 など
- 5、システム：

	金属材料	木材・コンクリート材料	プラスチック材料
前処理	塗装する面のゴミ、汚れ、カビ、サビ、油分などの付着物を、付着物に応じてサンドペーパー、ワイヤーブラシ、シンナーなどで除去してください。		
下塗り	サビ止めや中塗り塗料との密着性向上のために、金属に適したプライマー(サフェーサー)を塗布してください。	塗料の吸い込みや下地からの影響を防止防止するために、材料に適したシーラーを塗布してください。	PP、PEなど塗料の密着性が悪い樹脂などに、専用プライマーを塗布してください。
	※下塗りは、次に塗布する強溶剤塗料からの影響を受けないタイプをご使用ください。		
中塗り (白色塗料)	蓄光塗料の下地には、必ず白色の塗料を塗布してください。下地が白色でない場合は著しく発光輝度が低下します。(下地がはじめから白色の場合は不要ですが、下地の白色度はより高い方が発光輝度が高くなります。)		
	※白色塗料は、蓄光塗料(強溶剤タイプ)からの影響を受けないタイプをご使用ください。ラッカー(白)や強溶剤ウレタン塗料(白)などがご使用可能です。		
蓄光塗料	2～4回程度に分けて重ね塗りをして下さい。(目標塗膜厚200 $\mu$ m) ハケ塗りは2～3回、スプレー吹きは3～4回塗りを目安として下さい。		
トップコート (クリヤー)	蓄光塗料の被膜の保護及び艶出しの目的で塗布して下さい。 (塗料を屋外で使用される場合は、トップコートの使用をお勧めします。)		
	※トップコートは、市販のアクリルラッカークリヤーなどの塗料がご利用いただけます。		

- 6、塗装方法： スプレー吹き、ハケ・ローラー など
- 希釈割合
- 1)スプレー吹き …… 30～50%を目安にラッカーシンナーで希釈して下さい。
  - 2)ハケ・ローラー …… 0～20%を目安にラッカーシンナーで希釈して下さい。
- ※ 希釈の際は必ずラッカーシンナーをご使用下さい。(ペイントうすめ液・塗料シンナーは不可)
- ※ 希釈割合は、使用するスプレーガン、気温や条件によって異なります。任意に調整して下さい。
- 7、塗れる面積： 塗装できる面積は、1kg当たり約2m<sup>2</sup>です。
- ※ 蓄光塗料の塗装膜厚は、約200 $\mu$ m程度を推奨しております。塗れる面積の2m<sup>2</sup>/kgは、200 $\mu$ mの膜厚で塗布した際の理論値です。従って、塗装膜厚や塗装時のロスなどによって前後します。
- 8、乾燥時間： 1)乾燥時間 ① 指触時間 …… 60分 (20℃)
- 塗装間隔 ② 硬化時間 …… 24時間 (20℃) 最終養生は48時間以上
- ※ 重ね塗りをして膜厚が厚くなると、乾燥に時間が掛る場合があります。数日間十分に乾燥させてください。
- 2)塗装間隔 重ね塗りをする際の塗装間隔は、60分(最短)～5日(最長)を目安として下さい。
- 9、注意事項： 1)一度に極端な厚塗りは避けて下さい。塗膜の芯まで乾燥するのに時間が掛かってしまいます。  
[塗膜が200 $\mu$ m(0.2mm)程度になるまで、2～4回程度重ね塗りをする事をお勧めします。]
- 2)蓄光材料とクリヤーが分離する事があります。使用前に塗料の底からよく攪拌してご使用下さい。